

今年の冬は例年に比べ暖かく、除雪をする回数も少なかったかと思われます。4月が終わりに近づいてくるにつれて残っていた雪も無くなってきたように見えます。気温が温かくなると同時に現在 1 番 HOT な話題といえばやはり**新元号発表**です。天皇陛下が 4 月 30 日で退位されるということで 31 年続いた平成が終わりを迎えます。そして 4 月 1 日に平成に代わる新しい元号が発表されました。



5 月 1 日からの元号は「**令和**」と発表されました。これを聞いた皆さんはどう思われましたでしょうか。私個人の感想としては「これから何年も使い続ける 2 文字が書きやすくて良いな!」と感じました。ここで、様々なメディアで私が耳にした範囲で新元号に込められた意味や思いなどを紹介していこうと思います。

まずこの新元号は**万葉集**の歌からきており、**万葉集**の梅の花、32 首の序文にある、「初春の令月(れいげつ)にして、氣淑(きよ)く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後(はいご)の香を薫す。」から引用されています。これまで様々な元号がありましたが、中国ではなく日本の古典から採用されたのは今回が初めてだそうです。このことを理解したうえで改めて聞いてみると新元号から日本の伝統が感じられる気がします。

私は新元号令和を聞いたときに意味を、「人々が平和でいられるよう令を下せる様な国でありますように。」と漢字そのまま考えたのですが、実際の意味は、

『人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。  
梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように。』

との意味が込められており、漢字の意味以上に深いものが伝わってきます。また海外でも新元号の発表に対して反響があるそうで、日本の元号が変わるということは日本人だけでなく海外の方たちにとっても大きなニュースだとわかりました。今回、新元号についていろいろ調べましたが、まだまだ私が理解しきれないこともあると思います。ですが以前より、「令和」に込められた意味を知ったうえで、私たちと私たちの日本が成長していかなければならないなと思いましたし、人々がそれぞれの希望を咲かせられたらいいなと思います。

最後に、今回自分なりに調べてみて、意味を深く知ることにより「令和」の二文字に重みを感じられましたし、これからの日本を考えさせられました。日本人としてすごくいい機会だったと思います。新しい日本になると同時に皆さんもぜひ「令和」について調べてみてください。

記：Kazu.S